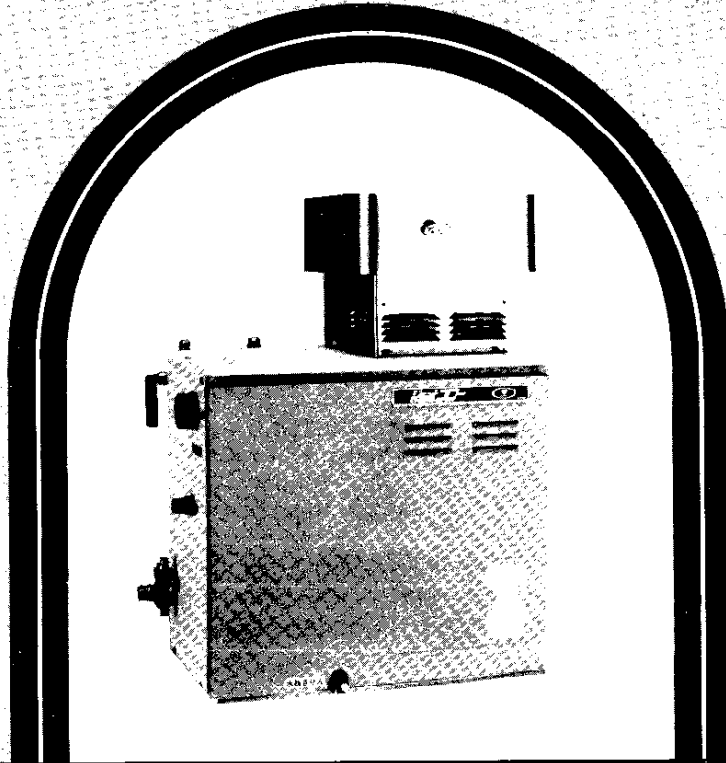
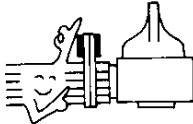
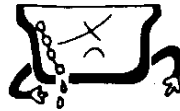
屋外設置型 31—072型

法定型式 V8R2型

取扱説明書

ガス器具をお使いになるときのご注意

ガスゴム管も
ときどき点検を
よいゴム管を
カッチリと…

使用中は
熱くなります
手をふれないで
ください！

排水せんの
しめ忘れに
ご注意ください。

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを…

このたびは、大阪ガスの31-072型 ジェットフロー（高温水タイプ）をお求めいただきありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書と別冊の工事説明書をよくお読みのうえ、別添の保証書とともに大切に保管してください。

■特　長

1. この器具はシャワー機能をもったガス風呂釜〔屋外設置型〕です。
2. 点火、消火、追焚、およびシャワー給湯の能力切替が浴室からリモコンで操作できます。
3. サイレンサーの渦流効果により、上下の温度差が少なくなりました。
4. 循環式風呂釜と違い、連絡水管は1本ですみますので浴槽からはなれた位置にも設置できます。
5. 能力は8号ですので沸き上がりが早いです。
6. 循環式風呂釜に比べてお湯がさめにくく経済的です。
7. 循環式風呂釜のような浴槽の汚れは非常に少なく清潔です。
8. 水位スイッチがついていますので、浴槽に水がないときは点火しません。
9. クイックセッターつきですから、操作が容易です。
10. 電池による連続スパーク点火式ですので、火花が連続的に発生しパイロットバーナーへの点火は容易です。
11. 電池確認ランプの点滅により、電池の消耗をしらせます。
12. パイロット安全装置（熱電対式）がついていますので、万一、パイロットバーナーが消えても自動的にガスが遮断され、生ガスが漏れる心配はありません。
13. 能力切替装置がついていますので、切替ハンドルをまわすだけでシャワー出湯温度を変えることができ、便利でしかも経済的です。
14. 厳寒期における凍結予防のための低温作動弁を組込んでいます。

目　次

[■]特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

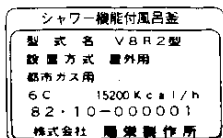
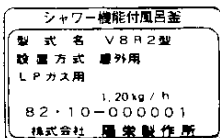
■使用ガスについてのご注意

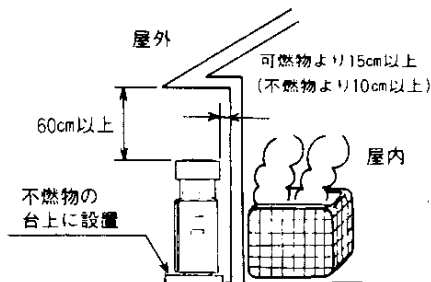
1. ガスの種類を確かめてください。
2. 器具本体側面にはってある銘板（ラベル）に**表示のガス**の種類と**お宅のガスが一致**しているかをまず確かめてください。
3. **転宅**されたときにも、供給ガスの種類と器具**銘板のガスの種類**が一致していることを、必ず確かめてください。ガスの種類が一致していないときは、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。
4. ガスの種類には都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

例 都市ガス用

シャワー機能付風呂釜
型 式 名　Ｖ８Ｒ２型
設置方式　屋外用
都市ガス用
６Ｃ　15200 Ｋｃａｌ／ｈ
８２・１０－０００００１
株式会社 陽栄製作所

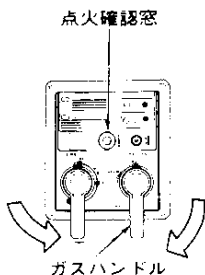
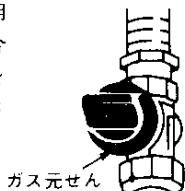
例 ＬＰガス用

シャワー機能付風呂釜
型 式 名　Ｖ８Ｒ２型
設置方式　屋外用
ＬＰガス用
1.20kg／ｈ
８２・１０－０００００１
株式会社 陽栄製作所

■使用場所についてのご注意

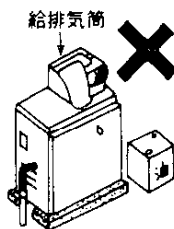
1. この器具は**屋外専用**です。屋内には設置しないでください。
2. 洗たくもの、壁その他の**可燃性の物**からは**十分離れた**場所に設置してください。
3. 浴槽からはなれた位置にも設置出来ますが、リモコンワイヤーの届く範囲内に設置してください。

■使用上のご注意

1. ガス漏れ予防

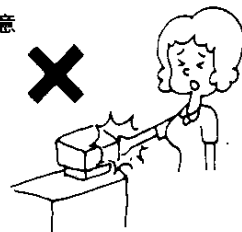
(1)使用後は必ずリモコンハンドルのガスハンドル（器具せん）を[止]にもどし、消火したことを確かめてください。

（点火確認窓が黒色になっていれば消火しています。）

(2)お出かけや、長期間使用しない場合は、**ガス元せん**を必ず閉めてください。

2. 火災予防

(1)給排気筒の上や器具の周囲に**燃えやすいもの**を置かないでください。

(2)**火をつけたまま**の就寝、外出は、絶対にしないでください。

3. 火傷についてのご注意

(1)使用中および消火直後は器具本体や給排気筒が高温になっていますので**絶対に手を触れないでください。**

(2)シャワーを使う場合、熱いお湯が出ることがありますので、直接身体にかけないで湯温が安定してからご使用ください。

(3)シャワー使用中に、他の給湯せん（お風呂の落し込み）を使用すると、湯温の急激な変化がおこりますので、**同時使用**はさけてください。

4．ガス事故防止

ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめて**ガス元せんを閉じ**、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。

5．凍結についてのご注意

冬期器具内の水が凍るおそれのあるときは、凍結による器具の破損を防止する処置を必ず行なってください。

詳しくは9ページ「**冬期の凍結による風呂釜の破損防止**について」の項をお読みください。

6．水圧が下がったとき

この器具は**風呂配管込の場合で0.9kg/cm²以上**の水圧が必要です。ご使用中でも水圧がこれ以下にさがるとバーナーは消火しますが故障ではありません。水圧があがれば又点火しますが水圧の低い間の使用はさけてください。

（給水元せんは**全開**にしてお使いください。）

7．シャワー給湯と風呂の同時使用はできません。

8．あと沸きについて

継続してお使いになるとき、最初に出るお湯は特に熱くなることがありますので、少し出してから、手をふれるようにしてください。

9．異常時の処置

万一異常燃焼を起したときや、緊急の場合、あわてずガスハンドルと**ガス元せんを閉じ**て消火し、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

10．音について

風呂着火時、泡とともに少し大きな音がしますが、使用上差支えありません。

■日常の点検・お手入れ

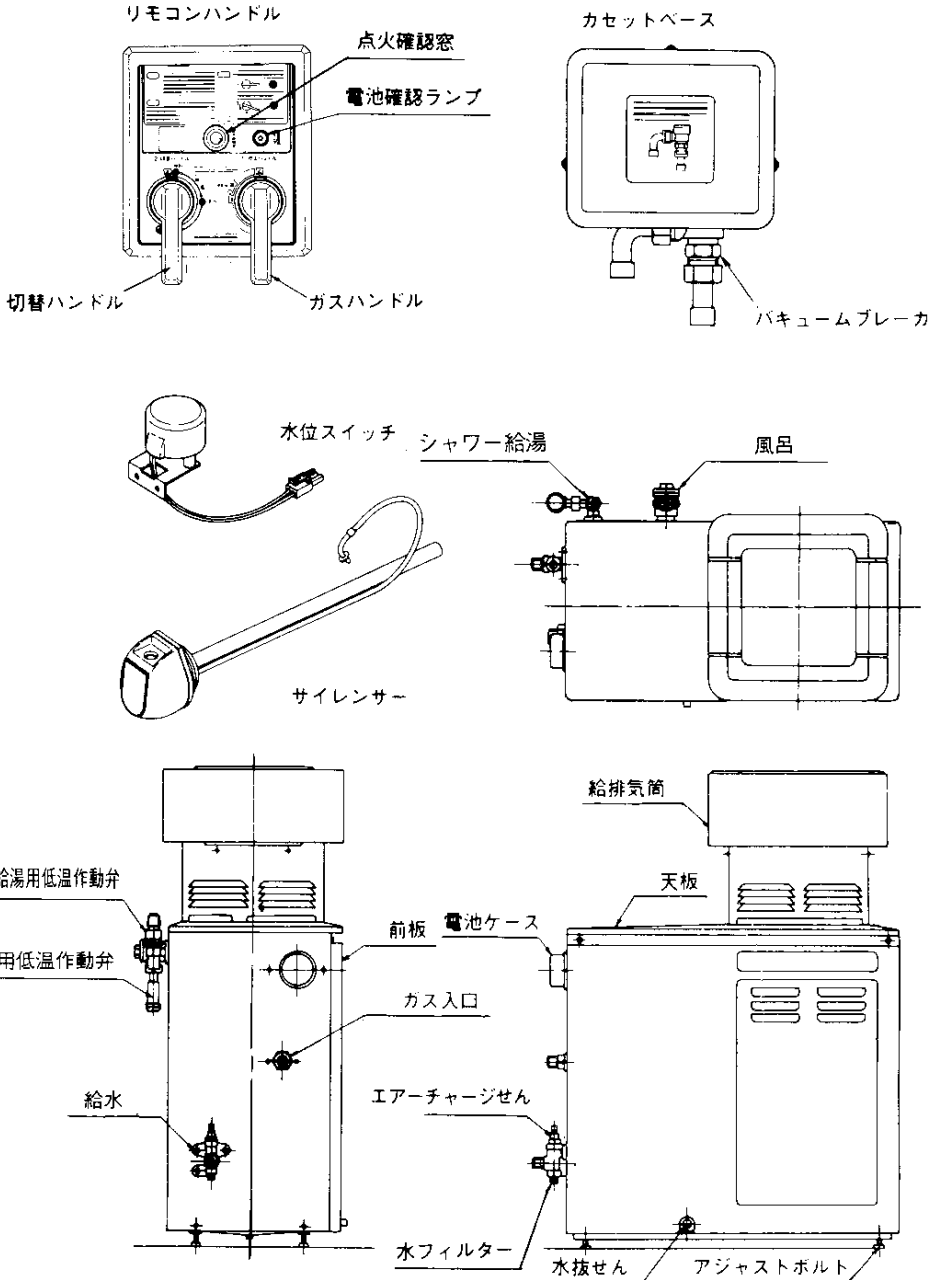
1．日常の点検、お手入れは必ず行なってください　●詳しくは8ページをお読みください。
2．故障又は、破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。

■器具の設置について

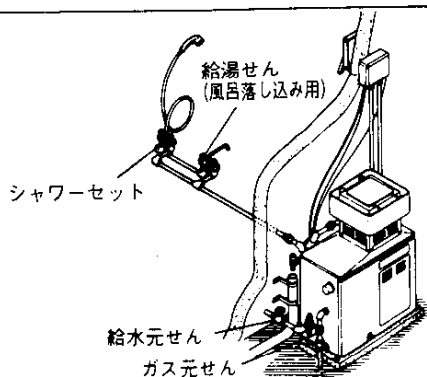
1．器具の設置はお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。
2．正しく設置されているか確認してください。（別冊の「工事説明書」を参考にしてください。）
3．**シャワー給湯配管および風呂配管は脱酸銅管**をご使用ください。熱および水圧が加わりますので鉛管および塩化ビニール管は使用しないでください。

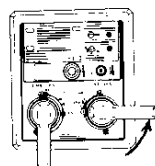
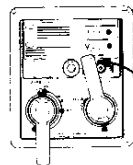
〔■〕各部の名称

■外観・寸法図

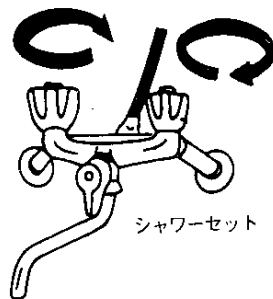
リモコンハンドル
点火確認窓
電池確認ランプ
切替ハンドル
ガスハンドル
カセットベース
バキュームブレーカ
水位スイッチ
サイレンサー
シャワー給湯
風呂
給排気筒
シャワー給湯用低温作動弁
天板
前板
電池ケース
風呂用低温作動弁
ガス入口
給水
エアーチャージせん
水フィルター
水抜せん
アジャストボルト

〔■〕ご使用方法

■点火前の準備と確認

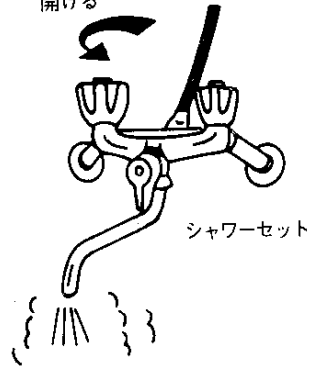
1. 給水元せん、シャワーセットのバルブを開き通水することを確認してください。
   注）確認後はシャワーセットのバルブをしめてください。
2. リモコンハンドルのガスハンドルを 止 にしておき、ガス元せんを全開にしてください。

■点　火

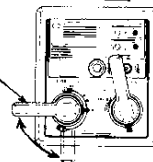
1. ガスハンドルを 止 から 1 へ止まるまで回し、そのまま待ってください。電池による連続スパーク点火でパイロットバーナに点火し点火確認窓が赤くなります。
2. ガスハンドルを 2 タネ火へもどし 開 へ回してください。
   パイロットバーナに点火して、約10秒待ってからシャワーセットのバルブを開けたり、切替ハンドルを 風呂 にして御使用ください。

(1)もし 1 の位置でパイロットバーナーに点火していない時は、 開 に回した直後点火確認窓に黒色が出てきます。
その時は、ガスハンドルを 開 から 止 へもどし約10秒間待って同様の操作をしてください。
注） 1 から 2 へもどす時、もどし過ぎますと安全装置が働きパイロットバーナが消火することがありますのでご注意ください。

(2)朝一番など時間を長くおいてご使用になるときパイロットバーナーに点火するまで時間がかかることがあります。これは器具や配管中に空気が残っているためです。この場合は 1 で点火確認窓に赤色が出てもしばらく待ってください。

(3)ガスハンドルを 1 へ回したときに、電池確認ランプが光らなくなれば、電池が消耗していますので乾電池（単一）を取り替えてください。詳しくは9ページ「乾電池交換のしかた」をお読みください。

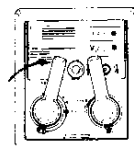
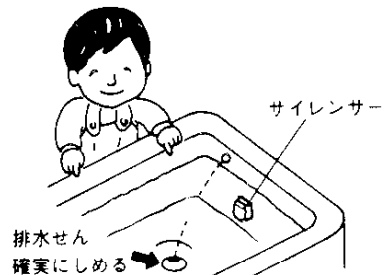
(4)点火操作中はシャワーセットのバルブを閉め、切替ハンドルを 止 の位置に合せておいてください。

■シャワー給湯

シャワーセットのバルブを開けますと、自動的にメーンバーナーに点火しお湯が出ます。
使い始めはシャワー給湯配管内の冷水を追い出すまで、しばらくお湯は出ません。

注）シャワー給湯は浴そうに水がなくても使用できます。
注）シャワーセットのバルブを極端に絞りますと、メーンバーナーの炎が消えて水が出てきます。
注）**高温出湯タイプ**のため出湯量は１分間に4ℓ程度です。湯温調節は切替ハンドル又はシャワーセットで調節してください。
注）パイロットバーナーに点火して、約10秒待ってからシャワーセットのバルブを開けてください。
注）すぐにシャワーセットのバルブを開けますと、パイロットバーナーの炎が消えることがありますが、これは安全装置のためで、故障ではありません。
（クイックセッター安全装置）

■能力切替

切替ハンドルを［ぬるい］、［あつい］の位置にあわせますと、ガスの量が変わります。
季節・用途に応じてお使いわけください。

■風　呂

1．風呂を沸かすときは、浴そうの排水せんを確実に閉じ、**浴そうの深さのほぼ半分を目安**に給水してください。この器具は水温により沸き上りの水位が異なりますので
夏は半分より多い目（＋３cm位）
冬は半分より少な目（－３cm位）
に張っていただくと適量な水位に沸き上ります。早く沸かしたい場合には、まず落し込み用給湯せんからぬるま湯を張って、次に風呂で追いだきしてご使用ください。

2．浴そうの水位を確かめてから切替ハンドルを［風呂］へ止まるまで確実に回してください。
注）風呂の手前で少し重くなりますが強く回してください。
注）はじめは、配管中の空気が押し出されて２～３秒間大きな泡が出ます。その後定常状態の追いだきになりますが、５～10秒間少し大きな音がする場合があります。
注）浴そうの水が少ないままで、切替ハンドルを［風呂］に回すと、安全装置が働いてガスを遮断します。
注）風呂加熱中はシャワーセットのバルブを開けてもお湯は出ません。**必ず閉めて**おいてください。開のままですと、風呂加熱が終って、切替ハンドルを給湯の位置にしたとき、熱湯が出て来て危険です。
注）風呂加熱中は浴そうの**水面が徐々に上昇**しますが故障ではありません。（水温により増え方が違います。水温から沸き上げるのに夏期約12cm・春秋期約16cm・冬期約19cmぐらい水位が上昇します。）

■消　火

1．シャワー使用後

シャワーセットのバルブをしめますとお湯が止まりメーンバーナーの火は消えます。この時パイロットバーナーの火は燃えていますから、つぎにお使いになるときは、シャワーセットのバルブを開くだけでメーンバーナーに着火してお湯が出てきます。

2．風呂使用後

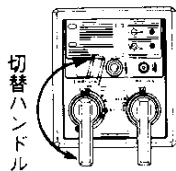
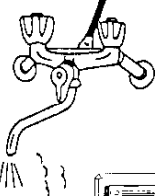
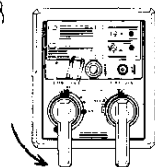
切替ハンドルを 止 の所までもどすと風呂加熱が止まり、約10秒間給湯状態になってからメーンバーナーの火は消えます。

この時パイロットバーナーの火は燃えていますから、つぎにお使いになるときは、切替ハンドルを 風呂 に合すだけでメーンバーナーに着火して加熱を開始します。

注）切替ハンドルを 止 の所までもどしてから数秒間は風呂加熱しますがこれは安全装置のためで、故障ではありません。(自動遅延機構)

注）その時、もしシャワーセットのバルブが開いたままですと、数秒おくれてシャワーセットからお湯がでますので、使用していない時は必ずシャワーセットのバルブを閉めてください。

注）切替ハンドルを 風呂 のままでガスハンドルを 止 にするとサイレンサーから水が流れ放しになるので注意してください。

注）風呂使用後、切替ハンドルを あつい で使用するときは、いったん 止 にもどしてから あつい の位置にあわせてください。

3．パイロットバーナーは、ガスハンドルを 開 から 止 の位置までもどすと消えます。

※　使い終ったあとはパイロットバーナーを必ず消火する習慣をつけてください。

◻安全装置が作動したときの処置方法

■処置について

ご使用中に自動的に運転が止まったり、全部のバーナーが消火してしまったときは、次の方法、並びに11ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

■パイロット安全装置

1．パイロットバーナーの炎が消えたときには安全装置が働いて自動的にガスが止まりますが、作動するまでに約1分かかりますので、パイロットバーナーの消火に気づいた時はすぐにハンドルを 止 にもどしてください。

（パイロットバーナーが消えますと点火確認窓の赤色が黒色にもどります。）

注）再点火するときはかならずシャワーセットのバルブをしめておき、すぐには点火せず、しばらく(約1分)待って注意して行なってください。すぐに点火操作をされますと危険です。

2．風が異常に強いときなどに、パイロットバーナーが消えてパイロット安全装置が作動することがあります。このときは風が弱まるまで待ってご使用ください。

■空だき過熱防止装置

熱交換器の異常な温度上昇をキャッチしてすべてのガスの通路を遮断し、火を消します。
空だき過熱防止装置がはたらいたときは、**ガスハンドル、切替ハンドルを[止]にしてガス元せんを閉じ**、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションに**ご連絡ください。**

注）空だき過熱防止装置が作動するときは、熱交換器の中の圧力が異常に高くなり、**器具の損傷**を防ぐため過圧逃し弁から圧力を逃します。（高温の蒸気が器具[illegible]で噴出します。）

■過熱防止装置

ご使用中、器具内の温度が異常に高くなったとき、過熱防止用ヒューズが溶けガスの通路を遮断し、火を消します
過熱防止装置がはたらいたときは、**ガスハンドル、切替ハンドルを [止] にし、ガス元せんを閉じ**、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。

■低温作動弁

この器具には、低温作動弁がついています。冬場外気温度が降下したとき、**低温作動弁が凍結予防のために作動して器具から水を少量流すようになっています。**

注）排水工事をされていない場合は、流れ出した水が凍ったり、器具の下がぬれたりしますのでご注意ください。（10ページ参照）

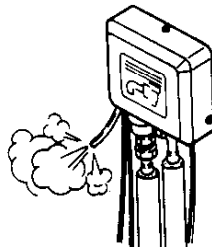
■水位スイッチ

浴そうに水が入っていない時、切替ハンドルを [風呂] に回すと水位スイッチの作用によりすべてのガスの通路を遮断し消火します。
風呂加熱中に浴そうの排水せんから水が漏れて水位が下った場合も同様に消火しますので、排水せんを確実にしめてください。

注）消火した時は浴そうの水位がサイレンサーから5～10cm程度になるまで水を入れて、切替ハンドルを [止] にして点火操作を行なってください。

■バキュームブレーカ

この器具は、浴槽の水が水道管の中へ逆流するのを防止するためバキュームブレーカをリモコンハンドルの裏側に組込んでいます。使用開始時、少し高温水が漏れることがありますが、異常ではありません。

高温水が多量に漏れたり、いつまでも止らない時は、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。

回 日常の点検・お手入れ

■点検・お手入れの際のご注意

器具を安全・快適にお使いいただくために、日頃の点検・お手入れを習慣づけるようにしてください。

(1)お手入れの前には必ずガス元せんを閉じてください。

(2)安全装置及びガスの通路部分は絶対に分解しないでください。

■点　検

1. 器具本体のまわりや排気トップの上に物を置いていませんか。ちりやほこりがたまっていませんか。これらは火災の原因になるほか、燃焼不良の原因になりますので取り除いてください。
2. 給水・シャワー給湯配管部および風呂配管部より、水漏れしていないか点検してください。
3. 器具が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつまったりします。
また取り付け場所によりバーナーに「くも」の巣をはることがあります。このような場合、不完全燃焼を起すことがあり、ときどきご使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。
異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガス元せんを閉めて、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

注）故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。

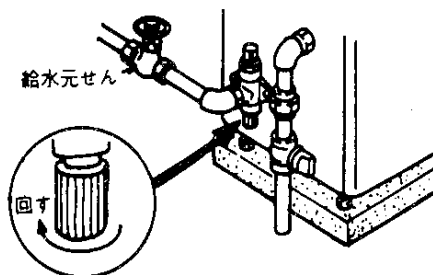
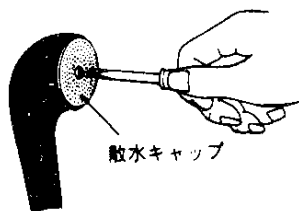
■お手入れ

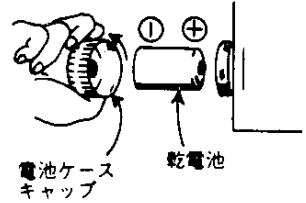
1. 外装の掃除
よごれは、やわらかい布に台所用洗剤をつけてふきとってください。

注）洗剤はのこらないようにふきとってください。

注）表示ラベルは、シンナーやベンジンなどでふかないでください。印刷がはげてしまいます。

注）かたいものでこすってキズをつけると、サビ発生の原因になりますから注意してください。

2. 水フィルターの掃除
水フィルターに給水配管内のゴミ、砂がたまりますとお湯が出にくくなります。
その場合は給水元せんを閉め、**給水口下部の水フィルターつまみ**を回し水フィルターを引き出して掃除してください。

3. シャワーヘッドのお手入れ
シャワーをお使いになるとき、お湯が出にくくなったり、バーナーの炎が消えたりするときは、シャワーヘッドにごみがつまっていることがあります。シャワーの散水キャップを取外して掃除してください。

■乾電池交換のしかた

電池ケースキャップを反時計方向に回すとはずれます。
乾電池は、挿入側を⊕側（突起側）にして挿入してください。
電池ケースキャップは、位置合せをして時計方向に回すと取付けできます。
乾電池は**単一**1.5Vを1個使用してください。
電池確認ランプが光らなくなった場合や、電池確認ランプが明るく光っていても、電池を入れて**3年間経過**したときは新しい電池とお取り替えください。

■冬期の凍結による器具の破損防止について

冬の厳寒期には器具内や給水・シャワー給湯管配管の水が凍結し、破損事故が起きることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、シャワーセットから水を流し放しにするなどの凍結防止処置をしてください。

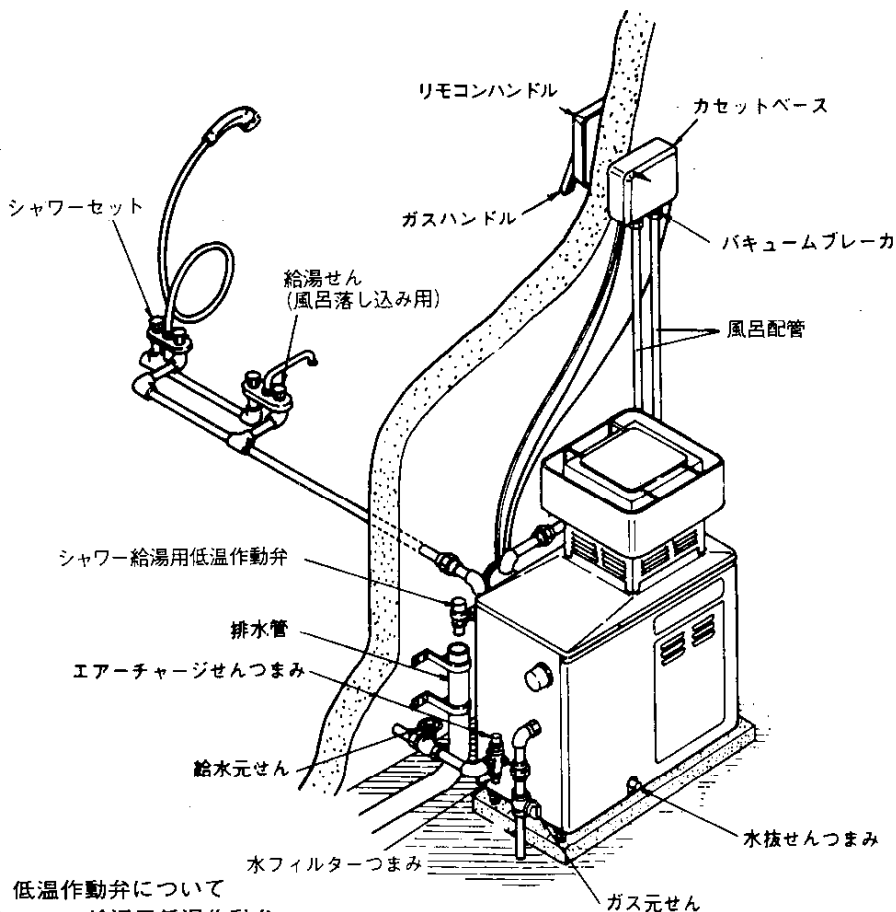
A．シャワーセットからの水を流し放しにする方法（一般的な凍結防止法）

（この方法は器具本体だけでなく、給水管、バルブ類の凍結も防止します。）
ガス元せんを閉じ、ガスハンドルを 止 にして、器具に火がつかないようにして、シャワーセットより少量の水〔1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上)、ただし寒さにより必要な流量が異なりますので、特に寒い日は多目に〕を流し放しにしておいてください。また、流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

B．器具内の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合、異常寒気の場合）

注）この方法は給水配管部分の凍結防止はできません。
次の手順で器具内の水を抜いてください。

(1)ガスハンドルを 止 切替ハンドルを 止 にして、ガス元せんを閉じる。
(2)給水元せんを閉じる。
(3)水抜きせんつまみをはずし、エアーチャージせんつまみを十分にゆるめる。
(4)シャワーセットのバルブを開く。(シャワーホースの水も抜いてください。)
(5)切替ハンドルを 風呂 にして風呂配管の中の水も抜いてください。
しばらくして（約1分）切替ハンドルを 止 にもどしてください。

注）次にお使いになるときまで、上記のままにしておいてください。
注）再度使用されるときは、水抜きせんつまみ、エアーチャージせんつまみをしめて、給水元せんを開き、シャワーセットから水が流れるのを確かめた後、シャワーセットのバルブを閉じて、点火操作を行なってください。

３．低温作動弁について

(1)シャワー給湯用低温作動弁

この器具には、万一９ページの凍結防止処置を忘れた場合や、急な冷え込みのために、外気温度が約２℃まで降下すると、自動的に器外に少量の水を流出し、外気温度が上昇すると自動的に水が止まる低温作動弁を組込んでいます。

(2)風呂用低温作動弁

外気温度が約５℃まで降下すると自動的に風呂配管部の水を器外に流出します。

これは、凍結の予防のためのもので、低温作動弁が働いて、水が流出するような場合は、必ず９ページのＡもしくはＢの処置をしてください。低温作動弁だけでは、冷え込みの厳しい場合や、異常寒気の場合は効果がありません。

注）器具内の水を抜く場合以外は、絶対に**給水元せんを閉じない**でください。低温作動弁が作動しても水が流れなくなります。断水時は低温作動弁が作動しても水が流れないので凍結予防はできません。

注）冬場、低温作動弁が凍結予防のために作動し、水が流出しますので、排水できるようにして、低温作動弁の下や周囲に物を置かないでください。また、流出した水が凍った場合は、すべらないようにご注意ねがいます。

●凍結したときは

(1)器具や配管が破損し、高額の修理費用がかかることがあります。（有償）

(2)凍結したまま使われますと、器具に異常を生じる場合があります。凍結している時は絶対点火しないでください。氷が溶けた後、水もれのないこと、異常のないことを確認の上ご使用ください。

■故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

■故障、異常の見分け方と処置について（○＝主原因、△＝原因）

原因 ＼ 現象	点火しない。点火しにくい。	ガスハンドルを「開」にまわすと消火する。	着火しにくい。（爆発的に着火する）	ススが発生する。	使用中に消火した。消火しやすい。	高温の湯が出ない。	シャワーセットのバルブを開いても着火しない。	使用中湯温が変動する。	お湯を止めても消火しない。	切替ハンドルを「止」にしても消火しない。	切替ハンドルを「風呂」にしても着火しない。	バキュームブレーカから高温水がもれる。	切替ハンドルを「止」にしたが浴そうの湯がぬるくなってふえている。	使用中浴そうにお湯ばかりふえて追いだきができない。	処置方法	お客さま	♥
ガス元せんの開き不十分	○		○			○								△	器具せんを一たん閉じてからガス元せんを全開にする。	○	
LPガスがなくなりかけている。	△	△	△		△	○		△						△	LPガスボンベ残量・LPガス販売店	○	○
ガス配管内に空気が残っている。	○	△	△		△										ガスが正常に出るまで十分注意しながら使用。	○	
ガス圧が適切でない。	△	△	○	△	△	○	△				△			△	他の器具も同様の場合は点検依頼する。		○
給水元せんの開き不十分			△		△		○				○				シャワーセットのバルブを一たん閉じてから，給水元せんを全開にする。	○	
水圧が適切でない			○		△	○	○	△			○			○	点検又は点検依頼する。		○
水フィルターのつまり			△		△	○	○	△			△				つまり除去又は依頼をする。	○	○
断水している。					○		○				○				使用を一たん中止する。	○	
凍結している。							○				○				解凍するまで使用を中止する。	○	
バーナー炎口づまり。空気口	△	△	△	△	△	△									依頼をする。		○
熱交換器の目づまり			△	○	△	△									依頼をする。		○
シャワーセットのバルブの開き不足。			△		△	○	○	△							シャワーセットのバルブを全開にする。	○	
ノズルづまり	○	△	△	△		△	△				△			△	点検を依頼する。（他に原因がないとき）		○
安全装置，電気部品の故障	△	○			△						○			○	点検を依頼する。（度々作動する場合）		○
水ガバナー，切替弁の故障						○	△	○	△	○	○		○	○	点検・修理・部品交換を依頼する。		○
器具内のガス弁の故障							△		○	○	△				点検を依頼する。		○
乾電池が消耗している。	○														新品と交換する。	○	
浴槽の水が少ない。					△						○				浴槽に水を加える。	○	
点火操作が適切でない。	○	△					○	○			○				「ご使用方法（点火）」参照	○	
バキュームブレーカの故障												○			点検を依頼する。		○
サイレンサーのつまり					○						○				点検を依頼する。		○

■長期間使用しない場合

長期間ご使用にならない場合はガス元せんを閉じ器具内の水抜きを行なってください。水抜き方法については9ページの「冬期の凍結による器具の破損防止について」の項をお読みください。

[■] 仕　　様

器種名		ジェットフロー 高温水タイプ
形式の呼び		31－072型
種類	給(出)湯方式	先　止　式
	給排気方式	屋　外　用
点火方式		連続放電点火式・クイックセッター付
作動水圧		0.9kg/cm²
外形寸法		高さ695mm×幅500mm×奥行270mm
重量(本体)		20kg
接続	ガス	15A　(PT½B)
	給水	15A　(PT½B)
	シャワー給湯	15A　(PT½B)
	風呂	15A　(PT½B)
安全装置		●パイロット安全装置　●過熱防止装置　●バキュームブレーカ ●クイックセッター安全装置　●水式緩点火装置 ●空だき防止装置　●水位スイッチ　●点火確認装置　●過圧逃し弁 ●低温作動弁(シャワー給湯、風呂)　●遅延機能付切替弁
付属品		リモコンハンドル　水位スイッチ サイレンサー　カセットベース

器具名		31－072型		
使用ガスグループ		1時間当りのガス消費量 Kcal/h	シャワー出湯能力ℓ/min 能力大 上昇温度	
			25°C	40°C
都市ガス用	6C	15,200	7.9	4.9
	13A	15,200	7.9	4.9
	6A	15,200	7.9	4.9
LPガス用		1,20kg/h (14,400)	7.6	4.7

備考●シャワー出湯能力は給水圧力1kg/cm²のとき
●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
●上表のシャワー出湯量は、シャワーセットで混合した時のシャワー出湯量で、器具からの出湯量は4.2ℓ/分(47°C上昇)に設定しています。

[■]アフターサービス(維持管理について)

●11ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に示すような故障の症状があった場合、この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検をしていただき、なお異常のあるときは保証書をお示しのうえ、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。

●ご不審な点や故障のおきたとき、また部品については、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにお申し出ください。

●ご連絡いただくときは、器具の左側面に貼付してあるコード番号も合わせてお知らせください。

〔例〕

(4)31—072(U)
大阪ガス株式会社

(N)31—072(U)
大阪ガス株式会社

別添の保証書は大切に保存してください。

■転宅される場合

ガスには15の種類があります。ご転宅などによりガスの種類が変ったときには、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご相談ください。
この場合の改造に要する費用は、保証期間内でありましても有償です。

■定期点検のすすめ(有償)

毎日お使いいただいているガス器具も、安心して末永くお使いいただくためには、定期的な点検とお手入れが必要です。
一般家庭用では2～3年に一度、業務用など長時間ご使用になる場合は1年に一度程度、専門家による分解手入れをお申し込みください。
お申し込み先……大阪ガスサービスショップ、サービスステーション、大阪ガス支社

◎上手に、長く、美しくお使いいただくためには、お手入れが大切です。習慣づけるようにしましょう。

◎この製品を設置する場合は、設置基準に従って設置してください。

■おねがい

ガスくさいときは、ガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

当社支社の住所・電話番号は裏面に掲載しております。